

【都市戦略4】 安全・安心な都市の実現

2024年頃の東京の姿

- 「倒れないまち」、「燃え広がらない・燃えないまち」が実現している。
- 自助・共助・公助の取組を通じて、都民に高い防災意識が醸成されるとともに、迅速・円滑な救出救助体制を確立し、災害時の対応力が向上している。
- 集中豪雨による水害などへの防災力が向上し安全が確保されている。
- 島しょ地域で地震・津波対策等を推進し、防災力が向上している。
- 全ての人々が治安の良さを実感できる世界一安全な都市が実現している。

政策目標

社会や都民生活の指標・状況

- ✦ 自助・共助・公助による震災被害の最小化 死者約6,000人減（2022年度）
- ✦ 木造住宅密集地域（整備地域）における不燃化の実現
- ✦ 50ミリ対応の治水安全度達成率が85%に向上するとともに、それを超える局地的集中豪雨に対する安全性も向上
- ✦ 島しょの防災力を高め、島民や観光客の安全性向上を実現
- ✦ 首都東京の犯罪リスクを低減し体感治安を向上

主な取組の到達目標

- 整備地域（約7,000ha）の不燃化・延焼を遮断する道路の整備
 - ・延焼による焼失ゼロ・特定整備路線（約26km）整備完了（2020年度）
- 地域防災力の向上
 - ・家庭・事業所の備蓄 実施率100%（2020年度）
- 豪雨対策として環状七号線地下広域調節池（仮称）等を整備（2025年度完成）
- 島民や観光客の安全性の確保
 - ・津波避難施設の整備 津波到達までに避難困難な9港で整備完了
- 犯罪の起きにくい社会づくりを推進
 - ・小学校通学路に防犯カメラを設置 公立小学校全1,296校（2018年度）

【都市戦略5】 福祉先進都市の実現

2024年頃の東京の姿

- 結婚、妊娠や子育てに関する支援が充実し、安心して産み育てられ、子供たちが健やかに成長できるまちが実現している。
- 超高齢社会に対応し、医療・介護・予防・生活支援・すまいの一体的な提供により、地域で安心して暮らせる社会が実現している。
- 質の高い医療が充実し、生涯、健康に暮らせる環境が整備されている。
- 障害のある人もない人も、お互いに尊重し、支えあいながら、共に生活する社会が実現している。

政策目標

社会や都民生活の指標・状況

- ✦ 保育の待機児童及び学童クラブのいわゆる待機児童が解消される等、子育てしやすい環境の整備
- ✦ 高齢者が地域で安心して生活できる基盤の整備
- ✦ 誰もが安心して医療を受けられる環境の実現
- ✦ 障害者が地域で自立した生活を送れる環境の実現

主な取組の到達目標

- 保育サービス利用児童数 4万人分増（2017年度末まで）
- 高齢者の多様なニーズに応じた施設やすまいを確保（2025年度末まで）
 - ・特別養護老人ホーム 6万人分
 - ・認知症高齢者グループホーム 2万人分
 - ・サービス付き高齢者向け住宅等 2万8千戸
- 障害者の生活基盤 6,720人分増（2017年度末まで）
 - ” 雇用 4万人増（2024年度末まで）
- 福祉インフラ整備のため、都営住宅・公社住宅の建替えに伴う創出用地のうち30ha超を提供（2024年度末まで）

【都市戦略6】 世界をリードするグローバル都市の実現

2024年頃の東京の姿

- 世界一のビジネス都市として国際競争を勝ち抜き、中小企業がイノベーションを遂げ、新たな投資と雇用を創出し、女性・若者等が活躍している。
- 都心等における市街地の再開発により、公共施設やまちの機能が一体的に再編・整備され、多様な都市機能を高密度に集積している。
- 確かな学力と国際感覚を有する人材が育成され、世界で活躍している。
- 都市外交の推進により、東京を一段と魅力的な都市へと進化させ、都民生活の向上につなげるとともに、世界の発展にも寄与している。

政策目標

社会や都民生活の指標・状況

- ✚ アジア地域の業務統括拠点等50社を含む外国企業500社以上を特区内に誘致
- ✚ 都内の開業率 10%台（米国・英国並み）
- ✚ M字カーブ解消に向けた女性（25～44歳）の有業率 75%
- ✚ 求職活動を行う不本意非正規を半減（167,100人→83,000人）
- ✚ 各地区のポテンシャルを生かした国際ビジネス、都市観光等の拠点に再生
- ✚ 使える英語力と豊かな国際感覚を身に付けた若者がグローバル社会で活躍

主な取組の到達目標

- 中小企業支援による経済活動の活性化
 - ・ 中小企業の成長産業分野への参入 1,000件、海外展開の実現 2,000件
- 都市の再生
 - ・ 有楽町地区で都有地などを活用し、駅周辺をリニューアル
- 世界に通用するグローバル人材の育成
 - ・ 高校卒業段階で日常生活に必要な英語力（英検準2級程度）を習得
 - ・ 習熟度別授業等の推進 全公立小中学校で順次展開

【都市戦略7】 豊かな環境や充実したインフラを次世代に引き継ぐ都市の実現

2024年頃の東京の姿

- 省エネルギー化の進展により、東京のエネルギー消費量は更に削減が進んでおり、再生可能エネルギーについても導入が拡大している。
- リニューアルされた都市インフラが、50年先、100年先の東京の経済・社会を支えていく良質な社会資本ストックとして次世代に継承されている。
- 多摩ニュータウンなどでは、住宅団地再生が一部で実現するなど、多世代が安心して住み続けられる持続可能なまちへの再生が進んでいる。

政策目標

社会や都民生活の指標・状況

- ✚ エネルギー消費量の削減 2000年比20%減（2020年）、30%減（2030年）
- ✚ 再生可能エネルギーによる電力利用割合 20%程度（2024年）
- ✚ 水素社会の実現に向けて、水素を活用した取組が本格化
- ✚ 長寿命化や施設更新に併せて、都市機能の向上とともに都市環境が改善
- ✚ 多世代が安心して住み続けられる持続可能なまちを実現

主な取組の到達目標

- スマートエネルギー都市の構築
 - ・ 都内における太陽光発電導入 100万kW（2024年）
 - ・ キャップ&トレード制度第2計画期間による温室効果ガスの削減（オフィスビル等17%減 工場等15%減（2019年度））
 - ・ 燃料電池車（2025年10万台）、水素ステーション（2025年80か所）
- 橋梁^{りょう}の長寿命化
 - ・ 対策に着手する橋梁数 160橋（累計）
- 多摩ニュータウンの再生
 - ・ 南多摩尾根幹線 整備推進
 - ・ 都営住宅の建替え 2020年度一部竣工（諏訪団地）

【都市戦略8】 多摩・島しょの振興

2024年頃の東京の姿

- 多摩ニュータウンなどでは、住宅団地再生が一部で実現するなど、多世代が安心して住み続けられる持続可能なまちへの再生が進んでいる。
- 多摩地域の幹線道路等の整備が進み、利便性が向上するとともに、災害時の物流や交通が確保され、快適で安全な生活空間が創出されている。
- 島しょ地域で地震・津波対策等を推進し、防災力が向上している。
- 高尾山や小笠原諸島など豊かな自然環境が保全されるとともに、多摩・島しょ地域の魅力が広く情報発信され、多くの人々が来訪している。
- 福祉など様々な分野のサービスが拡充し生活環境が一層向上している。

政策目標

社会や都民生活の指標・状況

- 多摩ニュータウンの再生が推進され多世代が住み続けられるまちが実現
- 多摩地域の人や物の流れを支え災害に強い交通インフラの整備が進展
- 島しょの防災力を高め、島民や観光客の安全性向上を実現
- 島しょを訪れる観光客の利便性を高める情報基盤の整備が進展

主な取組の到達目標

- 多摩ニュータウンの再生
 - ・ 都営住宅の建替え 2020年度一部竣工（諏訪団地）
- 多摩地域の道路ネットワークを構築
 - ・ 多摩南北道路 おおむね完成、多摩東西道路 約8割完成（2024年度）
 - ・ 多摩川南岸道路、秋川南岸道路 整備推進
 - ・ 南多摩尾根幹線 整備推進
- 島民や観光客の安全性の確保
 - ・ 津波避難施設の整備 津波到達までに避難困難な9港で整備完了
- 利便性の高い観光地の創造
 - ・ 島しょの船客待合所・空港におけるWi-Fi接続環境の向上 2020年度完了